

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	情報リテラシーⅢ (AI)		TDB201
講義名（コード）	情報リテラシーⅢ (AI)		TDB201
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	デジタル・ビジネスコース	単位数	2
授業担当者	鈴木祥夫	時間数	28
成績評価教員	鈴木祥夫	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	選択必修
実務者教員特記欄	本授業は関連業界で職業経験ある講師にて実施される。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	現在急速に発展しているAI(人工知能)の、機能、利用法、問題点、課題を知ることによりAIを理解し利用できる知識を学ぶ。
到達目標	AI(人工知能)を理解し利用できる知識を得ることにより、実社会においてAI技術者等の協力を得ながら業務を改善したり、新規分野に立ち向かう力を得る。
全体の内容と概要	chat GTPは、世界中の話題であり機能や急速な開発が、世界中で議論の対象となっている。また、2024年度からは、新東名で無人運転が開始されることとなり強化学習が焦点となる。AIは急速に必須の学習項目となっている。
授業時間外の学修	この授業は、JDLA(Japan Deep Learning Association)が作成したカリキュラムのうち重要な部分のみをまとめた授業です。全体を学習してG検定をぜひ受験してください。(学習時間50～60時間くらい)受験相談受け付けます。
履修上の注意事項	聞きなれない用語が多数でできます。これらの用語は、技術発展の流れに沿って理解・整理することにより理解が容易となります。
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	講師	授業内容
1	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	chat GPTとは【①現時点でのAI研究の最先端 ②GPT4の背景にあるAIの主要Player : Google、Microsoft、Facebook、イーロンマスク ③chatGPTを使ってみよう】
2	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	AI(人工知能)の法律、契約、動向
3	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	AI(人工知能)の歴史
4	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	自然言語処理とは
5	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	音声認識とは
6	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	画像認識とは
7	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	自動運転(深層強化学習)につて
8	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	敵対的生成ネットワーク(GAN)とは
9	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	Convolutional Nueral Network (CNN)
10	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	Recurrent Nueral Network (RNN)
11	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	学生の理解度に応じて授業の進度と内容を調整します。(調整予定)
12	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	学生の理解度に応じて授業の進度と内容を調整します。(調整予定)
13	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	試験
14	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	試験解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	